

全国労働衛生週間(10月1日～7日)の機運醸成を図るため、「腰痛予防対策」を中心に労働基準部長がパトロールを実施しました。

今回は社会福祉法人なごや福祉施設協会なごやハウス希望ヶ丘を訪問しました。



入浴場モデル



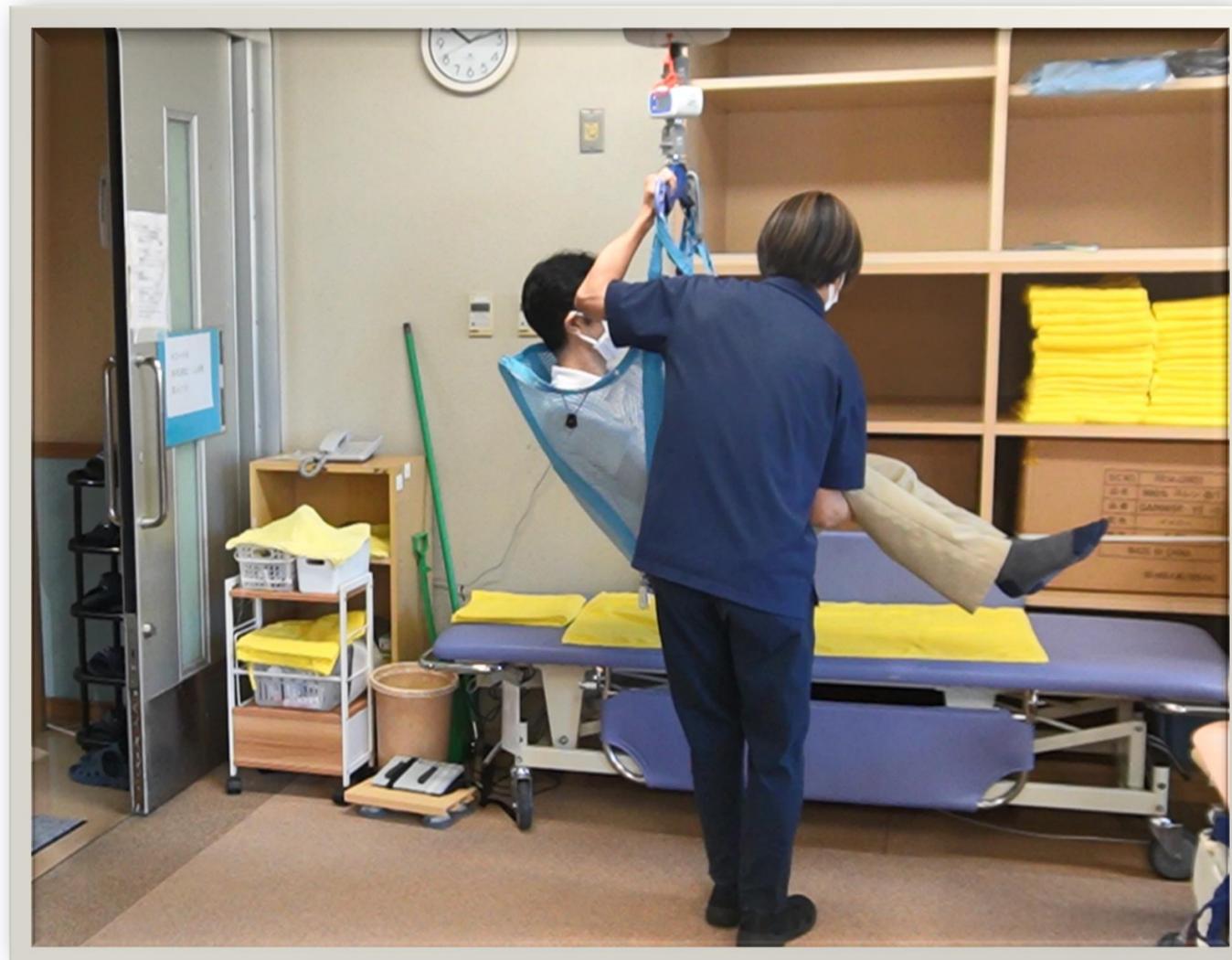
労働基準部長が、会社担当者から入浴介助の「注意点・危険性」の説明を受けている様子です。



【天井走行リフト】

お風呂専用リフトとして
移乗に使用します。
介護を受ける人をお尻
から首まで包み込むよう
にして持ち上げるリフト
はベッドから車いすへの
移動に人の力がいきりま
せん。

！腰痛防止！



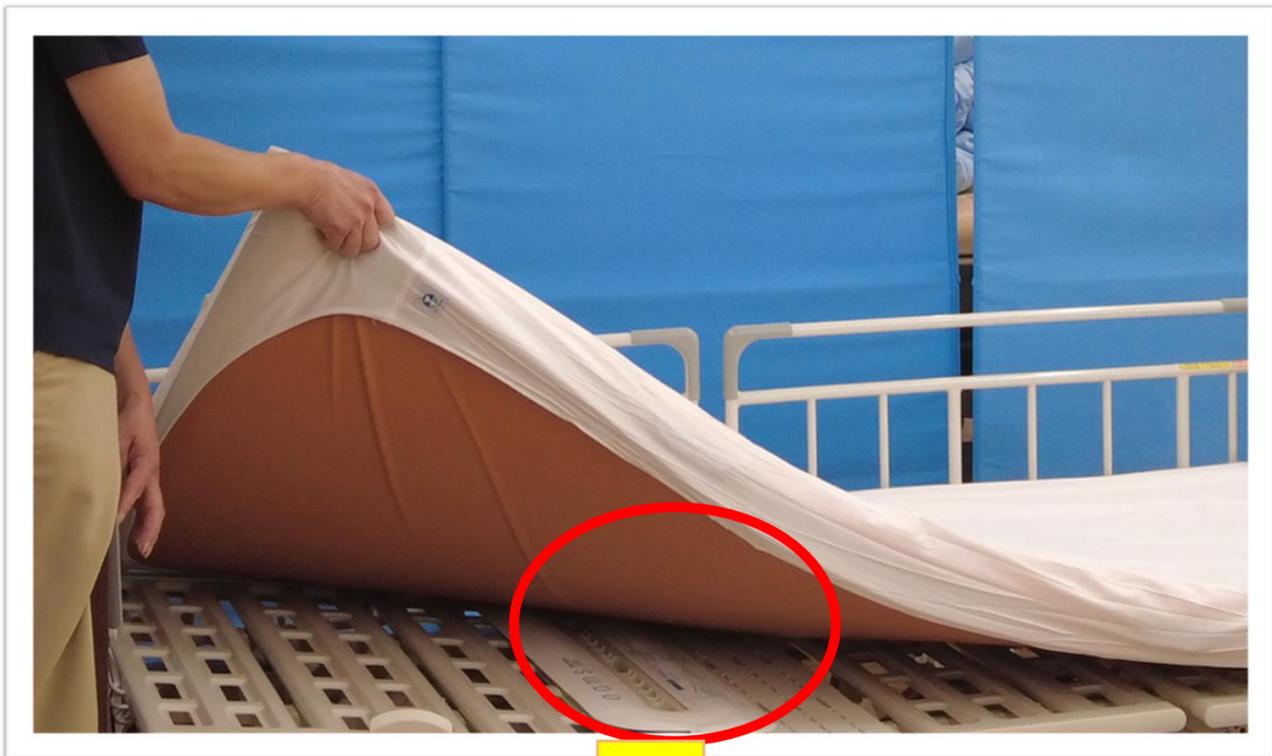
介護ロボット（介護リフトや
見守りロボット等）の導入に
より介護スタッフの
負担・疲労軽減のみならず、
「これまで2人で行っていた
作業が1人できる様になっ
た」、
「夜間の見守り巡回業務を
減らせた」など
人手不足対策にも効果が
あったとのこと。

！人手不足対策！



【マット型の見守り支援 介護ロボット】

赤く囲っている部分が
センサーマットで、心拍・
呼吸・体動・離着床・睡眠の
状態などを感知することが
できます。



24時間、利用者の方の
状態をモニター画面で見
守ることができるため、
夜勤者の**疲労の軽減**に
つながったとのことです。



！疲労の軽減！

労働基準部長



最後に・・・
労働基準部長が
記者様からの質問にお答えしました。

